

ベストマッチ[®] マメ用233 32-3-3

化成肥料と3種類の被覆肥料を配合し、マメなどの生育が好適になるように設計された一発肥料です。ダイズ栽培、エダマメ栽培、飼料用トウモロコシ栽培などに適します。

《ハイチツソタイプ肥料のご提案》

畑は生きもの、生かすために肥料や堆肥、土壌改良材は必需品。その中で目に見えない肥料成分は、コントロールしにくいものです。一般的な畑は、りん酸・加里の供給過多気味と言われているため、生育コントロールの基本となる窒素中心の設計で少量施肥をサポートします。

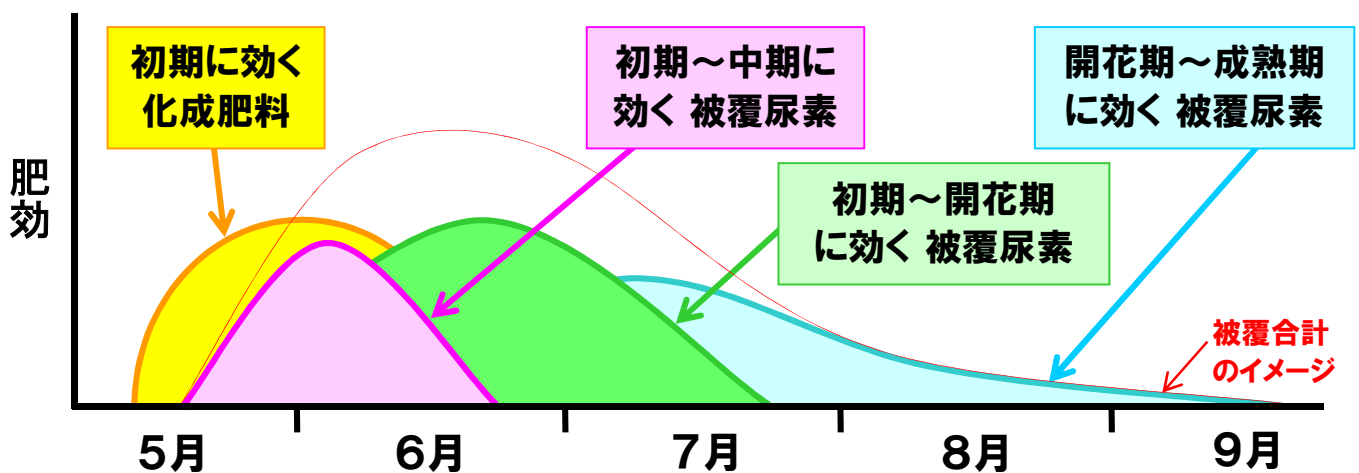
N	窒素(化成)	1.2 kg
	窒素(被覆)	5.2 kg
P	りん酸(化成)	0.6 kg
K	加里(化成)	0.6 kg

(1袋20kgあたり)

特長

1. 元肥として1回施用するだけで、マメなどの生育に好適な肥効が穏やかに持続します。
2. 生育初期はもちろん、栽培のポイントである開花期にしっかり肥効が持続します。
3. 初期に効く化成肥料と、初期～後期に必要な3種類の被覆肥料を配合しています。
4. ハイチツソタイプのため、少量の施肥でも、十分な効果があります。

ベストマッチ マメ用233の肥効イメージ(5月中旬施肥の場合)



品種	作型	施肥量(10aあたり)		施用方法
		現物	窒素量	
ダイズ	露地	12.5~20kg	4.0~6.4kg	施肥量は左記を参考に、慣行の総窒素量に合わせて地力により増減してください。 土壌改良材を通常通り施用した後、従来の元肥施肥時に全量を全層混和で施用してください。 機械施肥、側条施肥にも適しています。
エダマメ	トンネル露地	15~20kg	4.8~6.4kg	
飼料用トウモロコシ	露地	15~20kg	4.8~6.4kg	